

■部品・部材の明細

■部材の明細

折れ戸本体	3方枠	4方枠	3方枠用下枠	
			埋込下枠	フラット下レール
●クローゼット本体	●上枠 ●上レール ●縦枠 (2本) ●戸当り (2本)	●上枠 ●上レール ●縦枠 (2本) ●戸当り (2本) ●下レール ●ツバなし薄下枠	●埋込下枠	●フラット下レール

■本体用部品

	ガイドローラー	把手セット (ねじ付)	【アルミデザインの場合】 スペーサー (2個) ※アルミデザインのみ同梱	ガイドローラー固定金具
W07-08	2	1		1
W12-13-16-18	4	2		2
W24-26-27	6	3		3
W34	8	4		4

■3方枠・4方枠用部品

	皿小ねじ M4×50 (枠組立て用)		トラスタッピンねじ φ4×60 (上枠駆体取付け用)	ナベタッピンねじ φ4×40 (枠固定金具取付け用)	ワンタッチ吊車
	3方枠	4方枠			
W07-08	4	8	※7	8	2
W12-13-16-18	4	8	※10	8	4
W24-26-27	4	8	※12	8	6
W34	4	8	※14	8	8

※予備含む

■下枠用部品

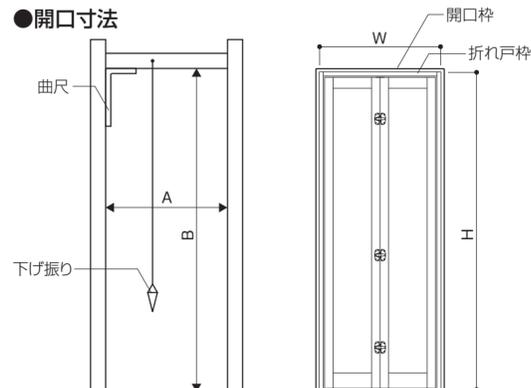
	皿タッピンねじφ4×18 頭部シート色塗装 (フラット下レール取付け用)	フラット下レール 端部ピース	皿木ねじ φ3.5×20 (埋込下枠取付け用)	埋込下枠 端部ピース
フラット下レールW07~W18	14	2	-	-
フラット下レールW24~W34	26	2	-	-
埋込下枠W07~W18	-	-	3	2
埋込下枠W24~W34	-	-	5	2

■開口部の作り方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+床厚+5mm

●開口寸法

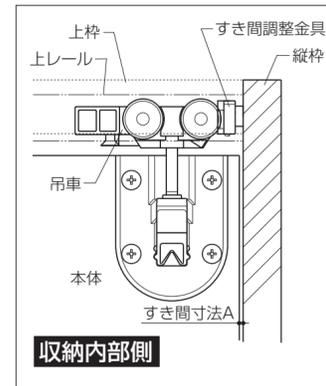


【フリー→ピボットの変更】

●本体上部の固定

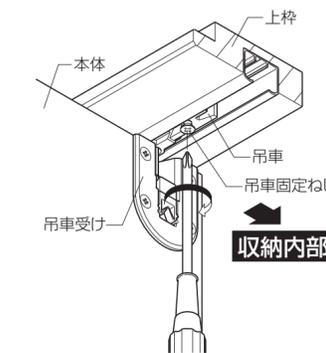
- ①本体をピボットにしたい位置まで移動させます。
- ②固定したい本体側の上部吊車に付いている「吊車固定ねじ」を回し、吊車が固定されるまでねじを回します。
- ③本体を左右にゆすって本体が固定されたかどうかを確認します。

	すき間寸法A(mm)
本体1Pの時(W07,08)	3.5
本体2Pの時(W12,13,16,18)	4
本体3Pの時(W24,26,27)	3.5
本体4Pの時(W34)	3.5



【ピボット→フリーの変更】

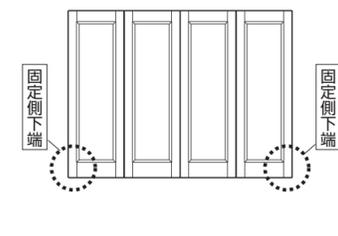
- ①吊車の吊車固定ねじを、ねじの回転が重くなるまでゆるめてください。ゆるめる量が少ないと吊車の動きが悪くなり開閉不具合の原因となります。
- ②ガイドローラーをガイドローラー固定金具から外し、ガイドローラー固定金具の固定ねじを緩めてレールから外してください。この時、ガイドローラーは必ず下レールにはめ込んでください。



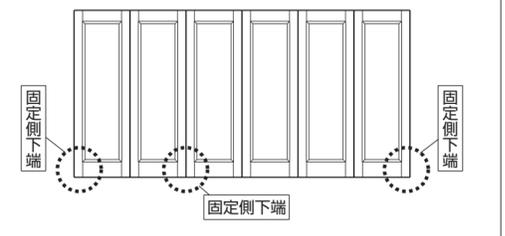
●本体下部の固定

※ピボットタイプとして本体を使用する場合は、ガイドローラー固定金具(本体用部品セット同梱)を用いて本体固定側の下端を固定してください。

●本体2体固定の場合



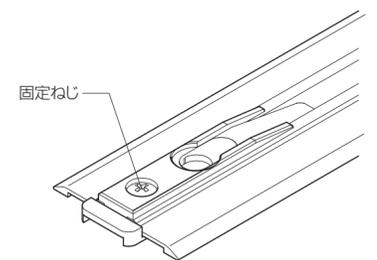
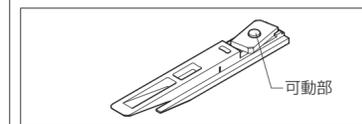
●本体3体固定の場合



- ①本体を正しい位置に移動させて、本体垂直がでているか確認します。
- ②ガイドローラー固定金具可動部を下図のように長手方向に向けます。

- ③ガイドローラー固定金具可動部を長手方向に保ったまま下レールに取付けます。固定ねじをプラスドライバーにて締め付けてください。

●ガイドローラー固定金具

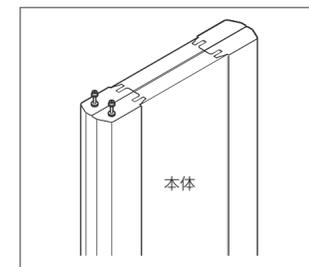


●ガイドローラー固定金具使用数量

	数量
本体1体固定の場合	1個
本体2体固定の場合	2個
本体3体固定の場合	3個
本体4体固定の場合	4個

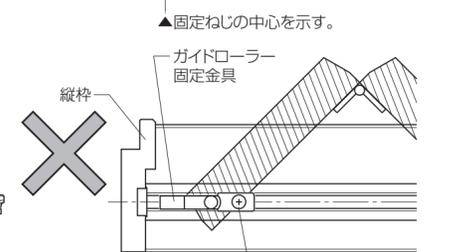
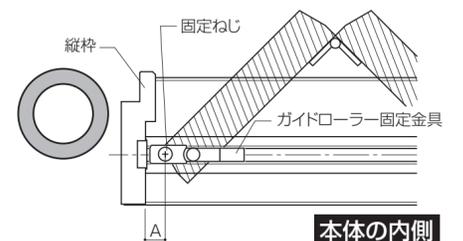
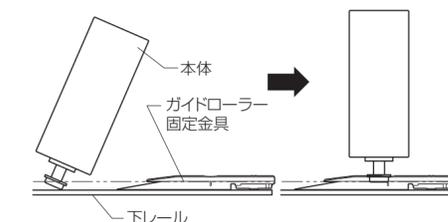
- ④本体のガイドローラーをガイドローラー固定金具に取付けます。

1. 下図のように本体をたたみます。
2. ガイドローラーがガイドローラー受けにはまる(「カチッ」と音がする)まで本体を立てます。
3. 別の本体も同じ手順で吊込んでください。



- ⑤ガイドローラー固定金具の取付け向きは、下図のように固定ねじが本体の外側になるよう、取付けてください。ガイドローラー固定金具の固定位置は、右図を参照してください。

- ⑥固定ねじをプラスドライバーで右に回します。ガイドローラー固定金具が動かないよう固定されたかどうか、確認してください。

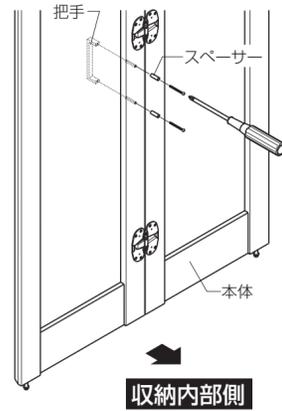


固定ねじの中心までの寸法	A
W12,13,16,18の場合	13.5
上記以外の場合	13

【アルミデザインの場合】

※工場出荷時には、把手取り付け穴は加工済みです。本体裏面よりスペーサー(把手セットに同梱)を差し込み、ねじで固定してください。

※把手取り付けねじは、手回しドライバーで固定してください。強いトルクで締め付けると、本体のへこみの原因となります。
※アルミデザイン本体にはスペーサーを必ず取付けてください。

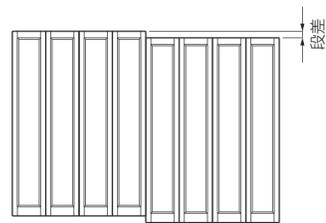


■調整

※本体の段違い(上・下)を調整します。

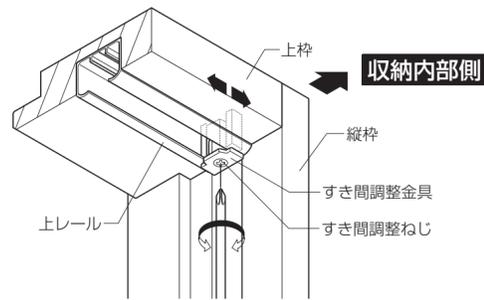
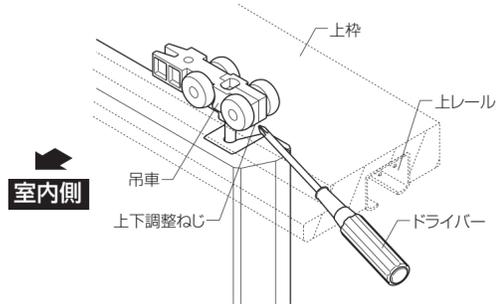
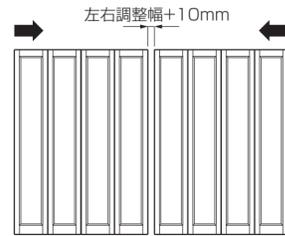
【段違い(上・下)の調整】

●本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回し調整してください。
(上下調整量±3mm)



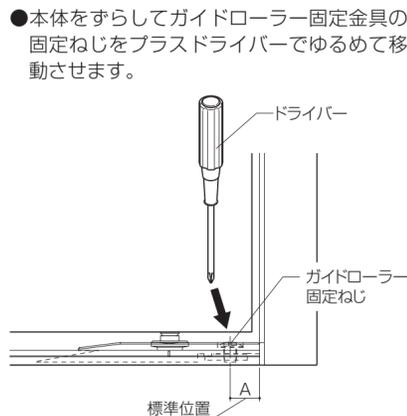
【すき間(左・右)の調整】(フリータイプの場合)

●本体間のすき間が大きい場合、上レールの端部(左右)に付いているすき間調整金具で調整できます。すき間調整ねじをドライバーで回し、調整してください。すき間調整ねじを右に回すと、すき間が小さくなります。
注)すき間調整金具は、上レールの左右に付いています(W07・08は、片側のみ)ので、左右均等に調整してください。

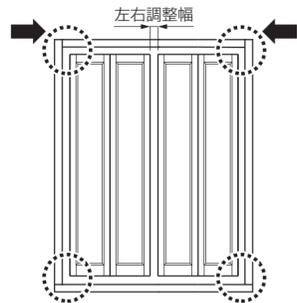
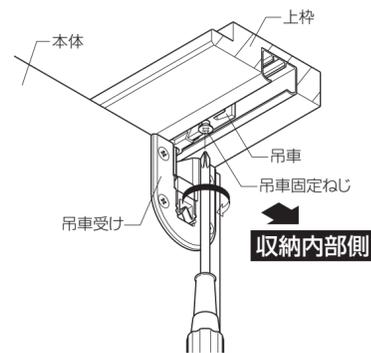


【すき間(左・右)の調整】(ピボットタイプの場合)

●ガイドローラー固定金具(本体用部品セット同梱)の取付け方法は【フリー→ピボットの変更】を参照してください。
●本体間のすき間が大きい場合、吊車及びガイドローラー固定金具で左右調整を行います。



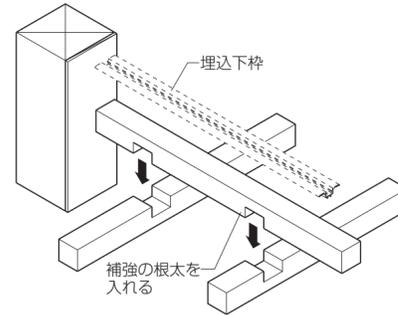
●吊車固定ねじをドライバーでゆるめて移動させます。



■床の張り方

1 下枠下地の確認

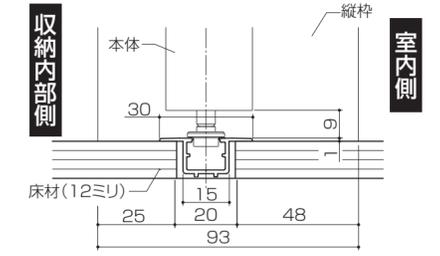
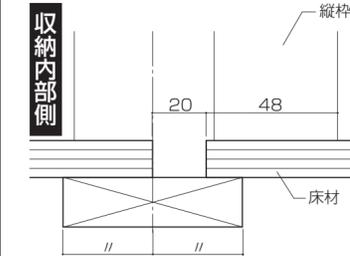
●枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や本体開閉不具合の原因となります。



2 床張り位置

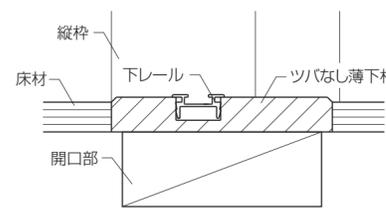
■床先張り(枠後付け) 【埋込下枠を使用する場合】

●床材間に埋込下枠が入りますので、室内側縦枠木口からa寸法内側の位置に20mmあけて、床材を張ってください。
※床材の間口寸法(20mm)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。



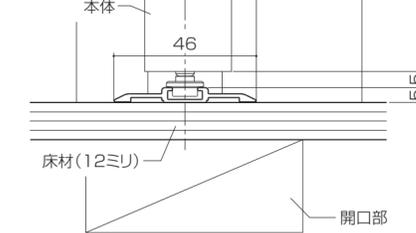
■床後張り(枠先付け) 【ツバなし薄下枠を使用する場合】

●枠取付け後、縦枠・薄下枠にそって床材を張ってください。



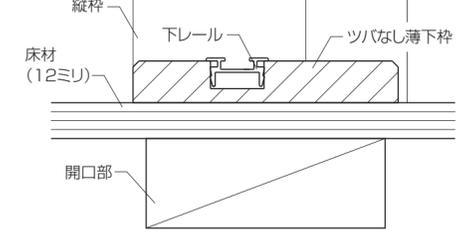
■床載せ納まり 【フラット下レールを使用する場合】

●床材を張ってから枠を取付けてください。
※床材をあけて張る必要はありません。



【ツバなし薄下枠を使用する場合】

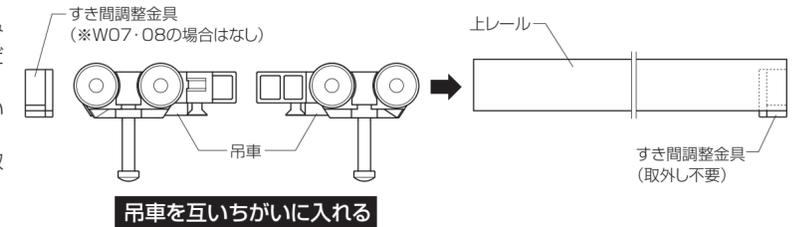
●床材を張ってから枠を取付けてください。
※床材をあけて張る必要はありません。



■取付け順序

1 枠の組立て

●上レール端部(左右)に付いているすき間調整金具を片側のみ取外し、吊車を互いちがいの向きにして上レールに入れてください。
※W07,08の場合は片側にしかすき間調整金具が付いていないため、取外す必要はありません。
●吊車を上レールに入れ終わったら、すき間調整金具を元通りに取付けてください。

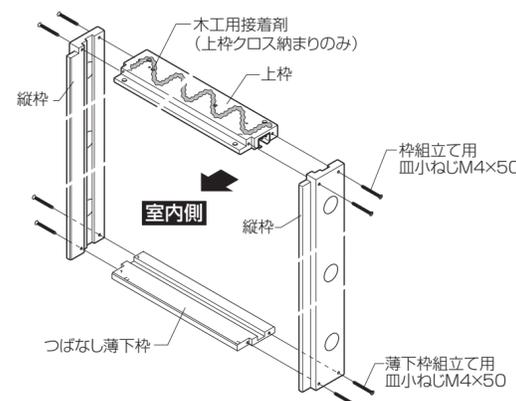


●お願い

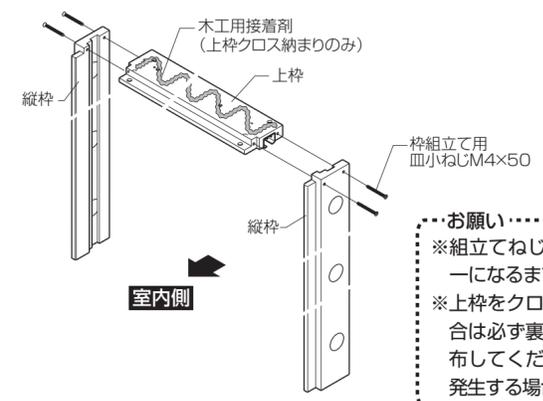
※枠組立て前に上レールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。

●下図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。
●上枠クロス巻き納まりの場合は、上枠裏面に木工用接着剤を塗布してください。
※天井納まりの場合は3方枠組み立ては行いません。

【つばなし薄下枠を使用する場合】



【埋込下枠又はフラット下レールを使用する場合】

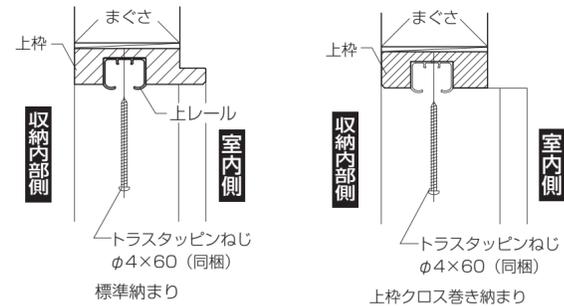
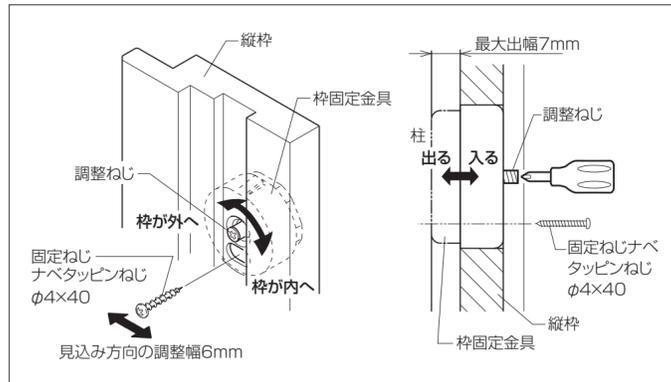


●お願い
※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。
※上枠をクロス巻き仕上げを行う場合は必ず裏面に木工用接着剤を塗布してください。クロスにシワが発生する場合があります。

■ 枠の取付け

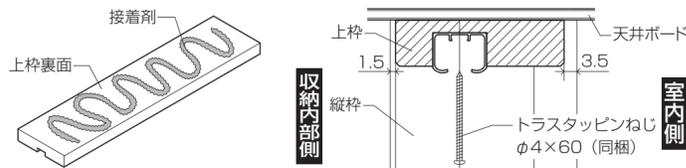
【標準納まり、上枠クロス巻き納まりの場合】

- ①組立てた枠を開口部に入れます。
 - ②縦枠に取付けられている枠固定金具(縦枠に4個取付け、H18は3個)の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
 - ③枠の垂直を確認してください。
 - ④固定ねじ(ナベタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長穴中央部分より締め付けてください。
 - ⑤枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、固定ねじをゆるめ、枠を動かします。(奥行方向の調整幅は6mmです)調整後、ねじを固定してください。
 - ⑥枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取付いている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
 - ⑦再度、枠の垂直を確認してください。
 - ⑧上枠・上レールはかい木をいれて水平になるように調整したあと固定ねじ(トラスタッピンねじφ4×60)で締め付けてください。
- ※縦枠の固定個所を増やしたい場合は、予備の上枠取付け用ねじ(トラスタッピンねじφ4×60)で固定してください。



【天井納まりの場合】

- 縦枠のみはじめに取り付けます。縦枠に取りつけられている枠固定金具(縦枠に4個)にて取付けを行なってください。(取付け詳細は標準納まりと同じです)
- 上枠裏面に木工用接着剤を塗布して固定ねじ(皿木ねじ)φ4×60で固定してください。



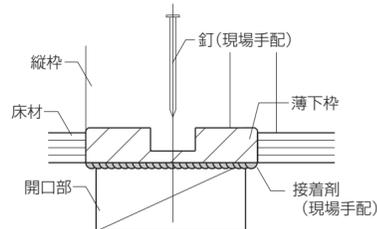
●お願い

- ※枠の建付けはゆがみが無いことを確認してください。ピボットタイプへ変更したとき、本体の開閉操作が重くなることがあります。
- ※枠固定金具の調整には電動ドライバーを使用しないでください。
- ※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

■薄下枠の取付け(つばなし薄下枠共通)

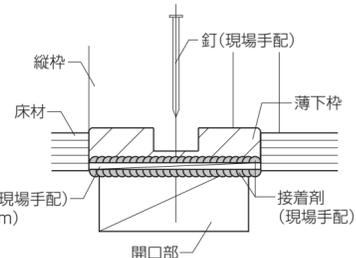
【床材厚さ12mm】

※必ず薄下枠に接着剤を付け、躯体に固定してください。



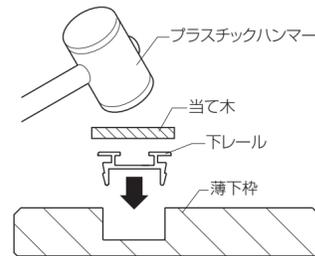
【床材厚さ15mm】

※必ず薄下枠と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。

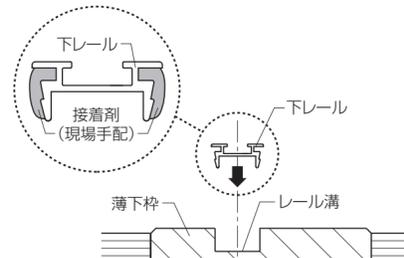


■下レールの取付け(薄下枠を使用する場合のみ)

- 薄下枠の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。



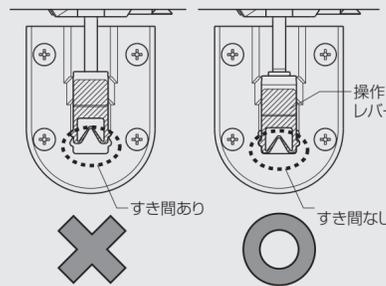
※接着剤(現場手配)は、レール溝にガタのある場合に使用してください。



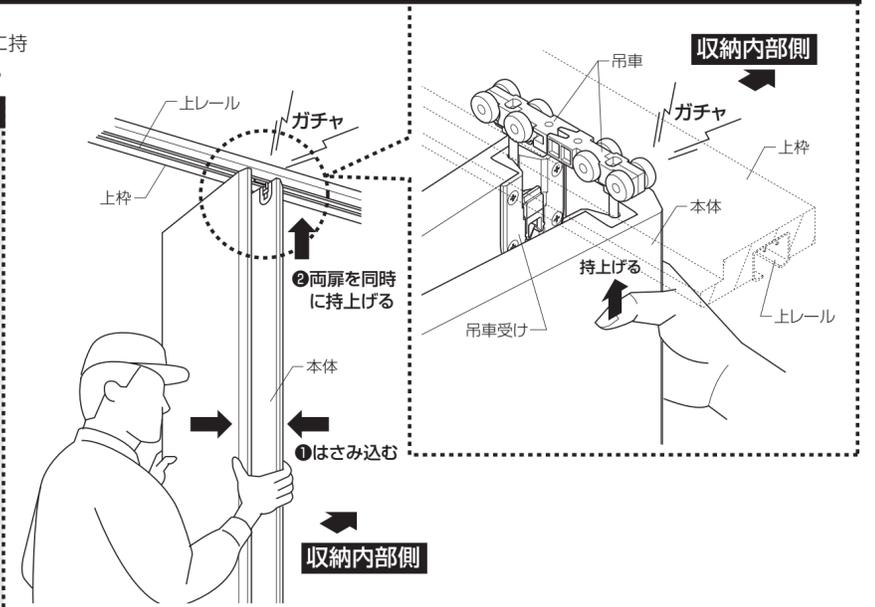
- ⑤本体をはさみ込んだまま、「ガチャ」と音がするまで上に持上げてください。吊車受けと吊車の軸が固定されます。

▲注意

- 吊込み後、本体をゆすって外れないことを確認してください。吊込みが完了していないと本体が脱落するおそれがあります。

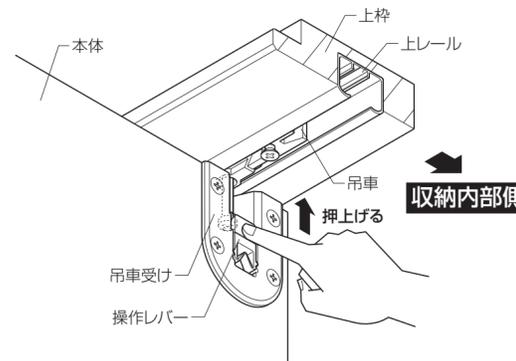


※吊込み完了は、操作レバーが下に下がっている状態です。(すき間なし)

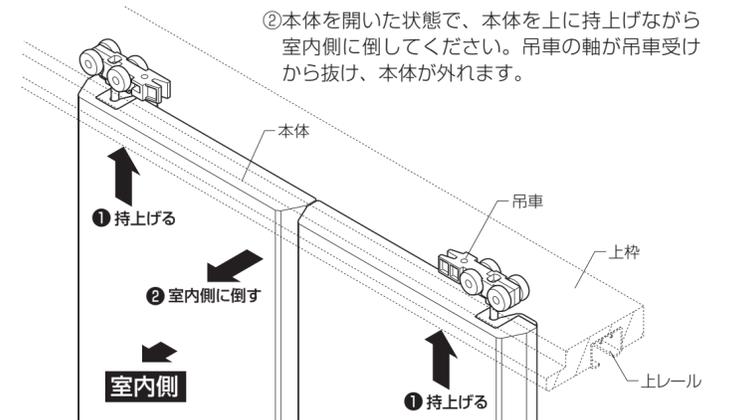


■本体の外し方

- ①本体上部の吊車受けの操作レバーを、固定されるまで上に押上げてください。



- ②本体を開いた状態で、本体を上を持ち上げながら室内側に倒してください。吊車の軸が吊車受けから抜け、本体が外れます。



■把手の取付け

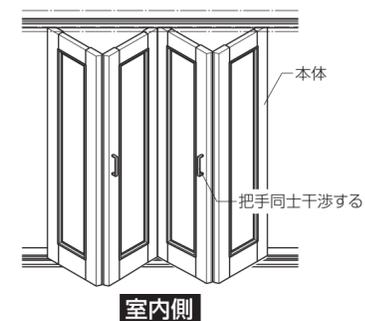
【アルミデザイン以外の場合】

※2枚の本体の裏面に把手取付け用の下穴が中間位置まであけてあります。把手を取付ける側の本体の下穴を貫通(φ4.5)してください。下穴をあける際には、本体裏側にあて木をし、バリがでないようにしてください。

【把手の位置について】

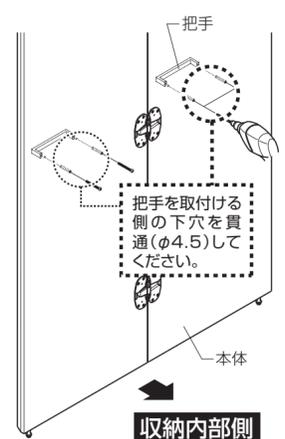
※ミラー付本体の場合、ミラー側の本体には把手が付きません。

●把手取付け時のお願い
※フリータイプの時に本体を折った状態で、向かい合わせになる本体をそれぞれに把手を取付けると、把手同士が干渉してキズが付くおそれがあります。



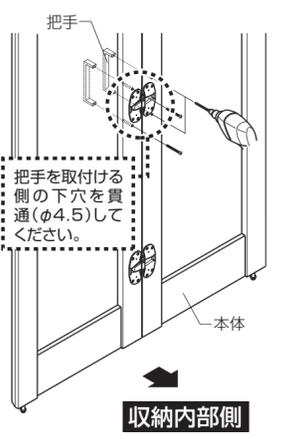
■把手横向きタイプの場合

※DW≤270の時は把手は縦向きとなります。



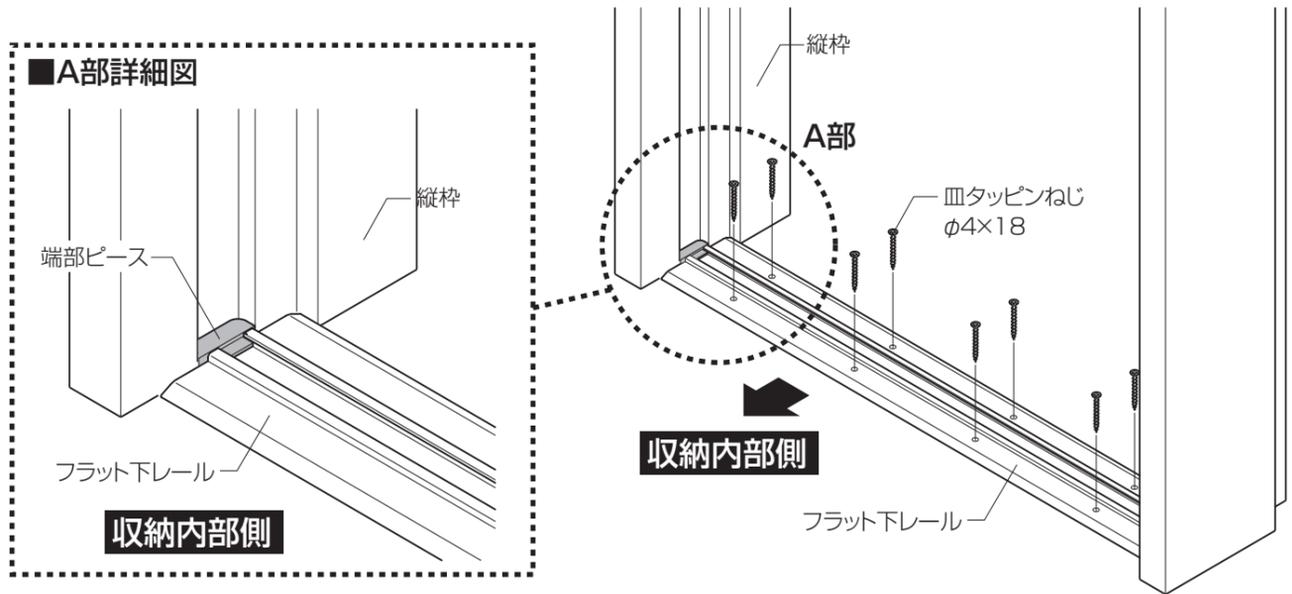
■把手縦向きタイプの場合

※DW≤270の時は把手は縦向きとなります。



■フラット下レールの取付け

- ①A部詳細図のように、フラット下レールに同梱されている端部ピースをフラット下レールに取付け、縦枠戸じゃくり溝に合わせ、はめ込み仮置きしてください。
- ②フラット下レールをねじ(皿タッピンねじφ4×18)で固定します。



お願い

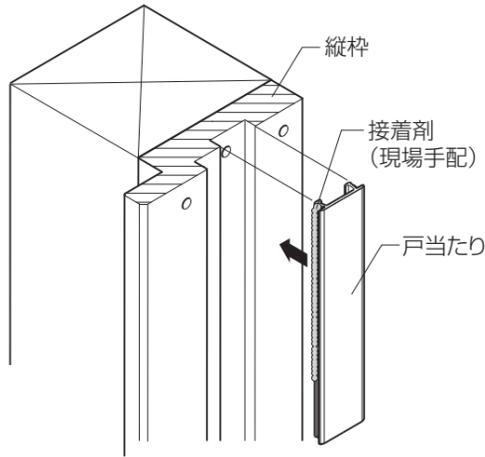
※フラット下レールを固定する床(下地)は、段差やすき間がないように仕上げしてからレールを固定してください。

お願い

※フラット下レールを取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。

■戸当りの取付け

- ①戸当りに接着剤(現場手配)を付けて溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、下枠取付け後に取付けてください。
- 戸当りを先に取付けると、フラット下レールが施工できなくなるおそれがあります。
- ※戸当りが長い場合は、無理に入れずに必要量を切詰めてください。
- ※戸当りの接着は、必ず枠の建付け完了後に行うようにしてください。



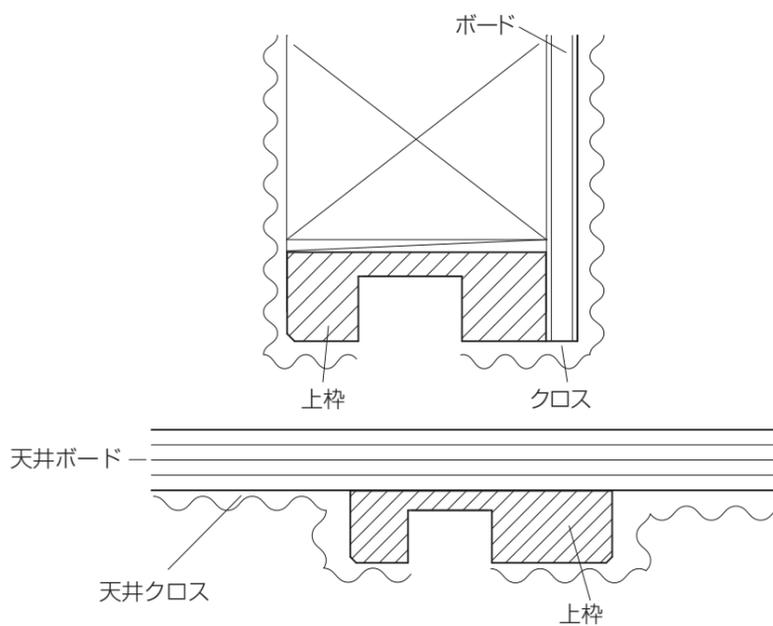
■3上枠をクロスにて仕上げる(特別対応品)

【上枠クロス巻き対応の場合】

- ①壁ボードを施工後に壁クロスにて上枠を巻き込むように仕上げを行います。
- ②上枠は、クロス貼り可能な紙シートにてラッピングしてありますので通常のクロスノリにて、クロスを貼る事が出来ます。
- ※必要に応じて、ボードコーナ処理やボードと枠のスキ間のパテ処理を行なって下さい。

【天井納まり対応の場合】

- ①天井クロスにて上枠を覆うように仕上げを行います。
- ②上枠は、クロス貼り可能な紙シートにてラッピングしてありますので通常のクロスノリにて、クロスを貼る事が出来ます。



■本体の吊込み

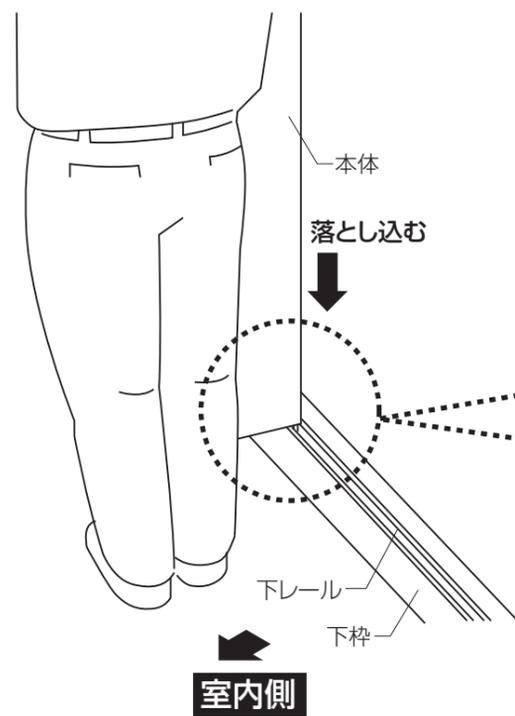
①ガイドローラーを本体下部の加工穴に圧入します。
 ※ミラータイプの本体は、1つの枠の中に、1枚のみと
 してください。

●お願い●
 ※ガイドローラーを圧入する際は、樹脂部に当て
 木を使用してください。

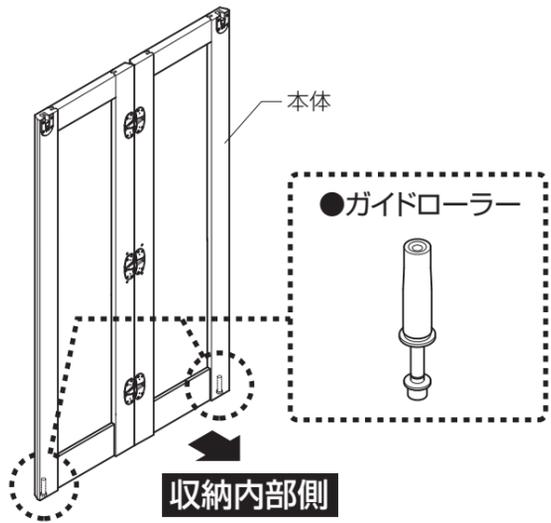
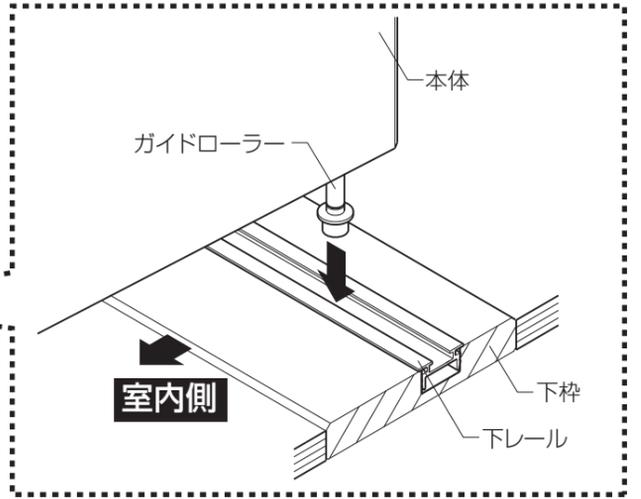
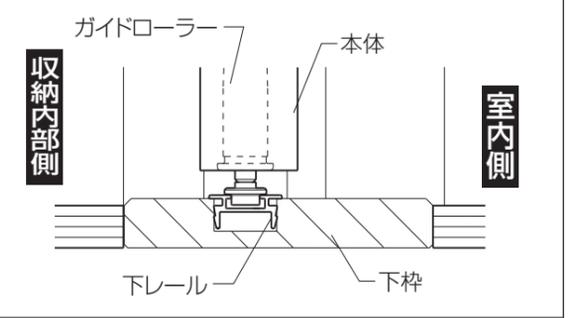
当て木
ガイドローラー

②ガイドローラーを下レールへ落とし込みます。

●お願い●
 ※ガイドローラーが下レールに入っている
 ことを確認してください。
 ※ガイドローラーで枠や床面などにキズを
 付けないようにしてください。



■薄下枠を使用する場合



③本体上部の吊車受けの溝部に、上レールに取付けた吊車の軸を差込みます。 ④本体で左右からはさみ込むようにします。

